

諏訪の景気動向

平成26年 5月

(平成26年 4月末 D・I調査)

平成26年 5月26日
岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫

経営相談室

諏訪地方の景気動向（平成 26 年 4 月末調査）

「平成 26 年 4 月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

諏訪地方 169 社のご協力を得て行った平成 26 年 4 月末の「景気動向調査(DI調査)」では、回答全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは 5.3 となり、前回調査時(平成 26 年 1 月末、以下同)の 2.3 から、3.0 ポイント改善した。製造業の業況判断DIは 3.0 と、前回の 9.3 から 6.3 ポイント悪化した。非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIは、12.8 と前回の△19.1 から、31.9 ポイント改善した。また、「3ヶ月後」の業況予想DIは、製造業が 3.9(前回 6.2)、非製造業が 10.3(前回 19.1)となり、回答全社では 5.3 となった。4 月からの消費増税の影響は、回答全社で 71.6%の企業が「多少」または「多大」な影響があったとしているが、業況に極端な影響をおよぼす状況は少ないと見られる。ただ、3ヶ月後も影響が続くと見る企業が多く、先行きの不透明感もある。

製造業の業況判断DIは、「3ヶ月前」比で 3.0 と、前回調査時の 9.3 から悪化し、「前年同期」比も 14.7 で、前回の 19.4 から悪化している。「3ヶ月後」の予想は 3.9 で前回の 6.2 より悪化した。また、受注状況DIは「3ヶ月前」比で 1.6 となり、前回の 9.3 より悪化している。「前年同期」比も前回の 19.4 から 11.6 と悪化し、「3ヶ月後」の予想も 1.5 で前回の 2.3 よりさらに悪化し、慎重な見方が増えている。収益性DIは「3ヶ月前」比が前回の△11.6 から△7.7、「前年同期」比は△13.2 から△8.5、「3ヶ月後」の予想は前回の△9.3 から△5.4 と、それぞれやや改善しているが、依然マイナス水準が続いている。

消費増税の影響は 61.5%の企業が「多少」、7.7%が「多大」とした。駆け込み需要の反動が出ている企業がある反面、高水準の生産が続く企業もあり、分野や取引先の状況で業況は異なるが、総体的に 4 月は大きな落ち込みはなかった企業が多い。ただ、材料費や燃料費、電気料金などのコスト高を懸念する企業は多い。

商業の大型店を中心とした業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて 0.0 で、「好転」と「悪化」企業が同率となり、前回調査時と同様だった。「前年同期」比は 9.1 で、前回の 16.7 より悪化した。「3ヶ月後」の予想も△18.2 で、前回の 16.6 から悪化した。消費増税の影響は 63.6%の企業が「多大」としている。一方、収益性DIは「3ヶ月前」比では△9.1 と水面下だが、「3ヶ月後」は逆に 9.1 となり改善を見込む企業が多い。自動車販売は、諏訪地方の 4 月の車庫証明件数(軽自動車除く)が 875 件で、駆け込み需要があった 3 月に比べ 741 件減少(△45.9%)した。ただ、前年同月比では 20 件の減少(△2.2%)にとどまり、6ヶ月ぶりに減少に転じたが、販売店などには「想定内」の感触がある。

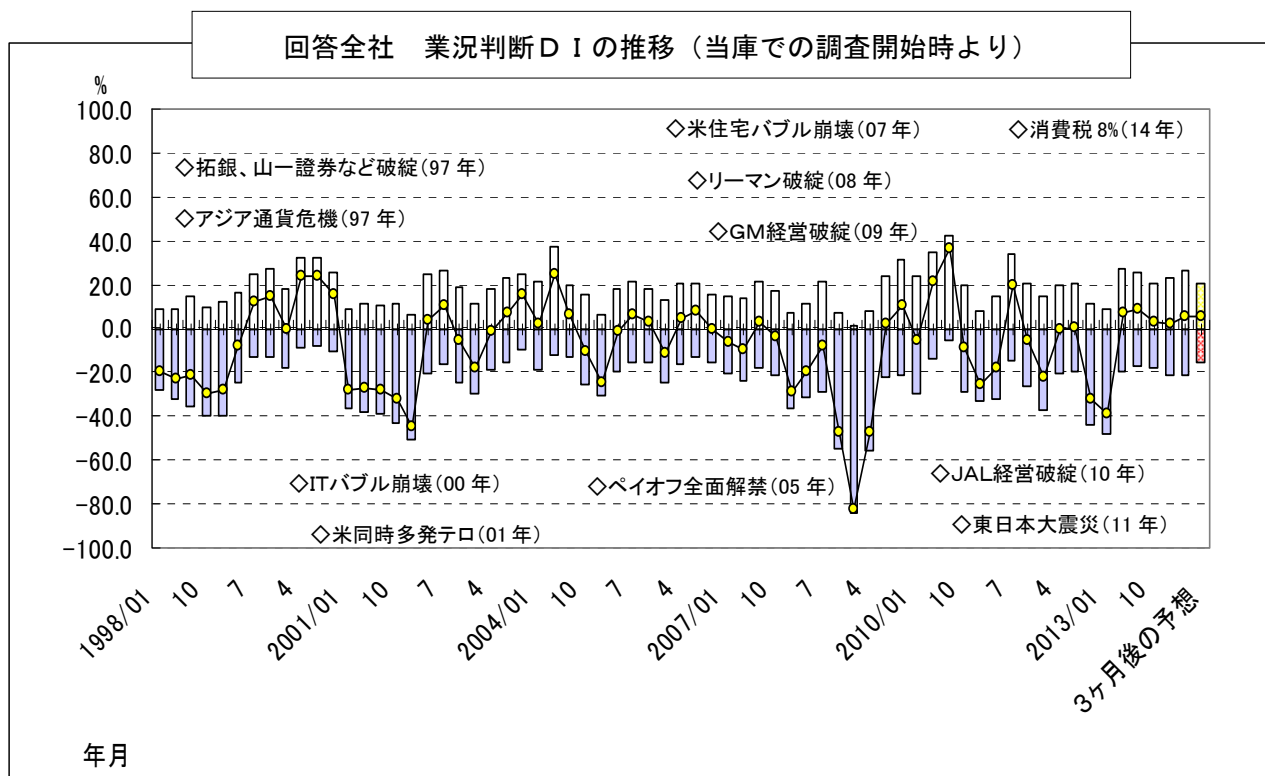
観光・サービス業は「3ヶ月前」と比べた業況判断DIが 43.7 となり、季節要因もあって前回調査時の△38.9 から大幅改善した。稼働率DIは 43.7 で前回の△55.6 から改善し、来客・宿泊数DIも 43.8 で前回の△16.7 より改善したが、「前年同期」比の業況判断DIでは 0.0 で、前回の 5.6 より悪化している。諏訪湖周辺のホテル、旅館の宿泊客数は総体で前年比増加したが、60%台～140%台と、施設間の格差は大きい。「3ヶ月後」の業況予想DIは、本格的な観光シーズンに向かう季節要因があり 43.8 で前回の 33.3 よりさらに改善し、宿泊客数予想DIも 50.0 となっている。客単価予想DIは横ばいとする企業が多く、6.3 と前回の 22.2 より低下している。消費増税の影響を 68.8%の企業が感じ、加えてガソリン値上げ、平日のETC割引中止などの影響もある。

建設業の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは△16.6で「悪化」の企業が増え、前回調査時の△8.3から悪化幅が広がった。「3ヶ月後」の予想も△8.3で前回の0.0より悪化した。受注状況DIは、「3ヶ月前」比は△33.3で前回の△8.3から悪化し、「前年同期」比でも「悪化」企業が増えて△16.6、「3ヶ月後」の予想も△8.3となっており、総体的に駆け込み需要後の反動が現れている。

諏訪地方の平成26年3月の新設住宅着工戸数は66戸と、前年同月の63戸に比べ3戸(4.8%)増加した。平成25年4月～平成26年3月の累計着工戸数は1,363戸で、前年比269戸(24.6%)増とリーマン・ショック前に近づく水準となった。

4月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は1件44百万円だった。補正予算による交付金効果などで大幅増加した前年同月に比べて19件、95.0%の大幅減少となった。市町村の発注工事は合計57件、480百万円で、前年同月比24.1%減だった。駆け込み需要で受注した工期の遅れ分などで繁忙な企業が多いが、新規受注は減少傾向となっている。

雇用状況は、平成26年3月の諏訪地方の有効求人倍率は、前年同月を0.24ポイント上回り、前月を0.02ポイント上回る0.98倍となった。昨年6月から10ヶ月連続で前年を上回っている。長野県は1.04倍で、全国は1.07倍となった。新規求人数(全数)は1,457人で前年同月比222人(18.0%)増加し、新規求職者数は1,045人で前年同月比140人(△11.8%)減少している。産業別の前年同月比の新規求人数は、製造業で58.6%、その他サービス業で35.0%増加し、飲食店・宿泊業で16.2%減少した。求人の要因別では「欠員補充」「創業・新分野展開」「業務量増大」が増加し、「継続する人員不足」が減少した。また、1件10人以上の人員整理は4件59人で、事業主都合による雇用保険資格喪失者は59人と、前年同月より23人減少、前月より16人増加した。



業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社(169社)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「好転」企業が26.6%、「横這」企業が52.1%、「悪化」企業が21.3%で5.3と、前回調査時の2.3から3.0ポイント改善した。前回に比べて製造業は、「好転」企業が27.1%から23.8%へ減少し、「悪化」企業は17.8%から20.8%へ増加した。非製造業は「好転」企業が11.9%から35.9%へ増加し、「悪化」企業は31.0%から23.1%へ減少した。ただ、「好転」は季節要因がある観光業が大きく、商業のDIは0.0、建設業は△16.6となっており、駆け込み需要直後の商業や主に消費税率引き上げの特例措置期限の昨年9月までに受注を伸ばした建設業に反動減がある。

産業別業況表

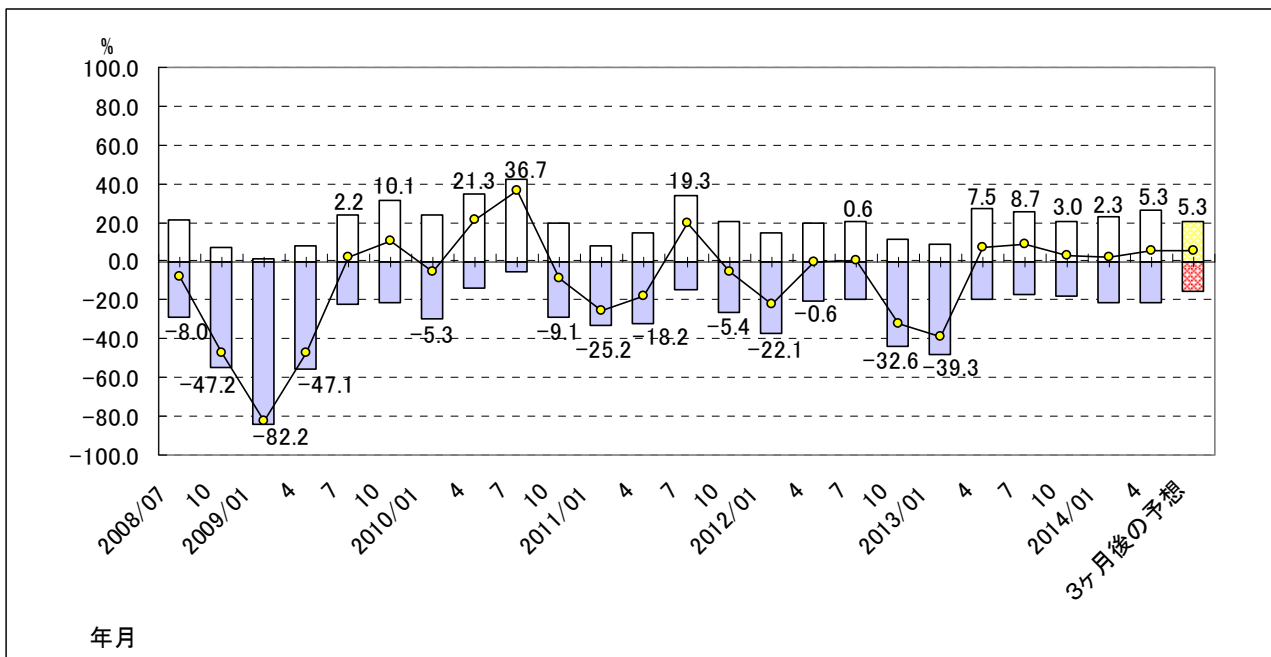
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	169	26.6	52.1	21.3	5.3	169	36.1	41.4	22.5	13.6	169	20.7	63.9	15.4	5.3
製造業	130	23.8	55.4	20.8	3.0	130	36.2	42.3	21.5	14.7	130	18.5	66.9	14.6	3.9
非製造業	39	35.9	41.0	23.1	12.8	39	35.9	38.5	25.6	10.3	39	28.2	53.8	17.9	10.3
商業(大型店)	11	18.2	63.6	18.2	0.0	11	36.4	36.4	27.3	9.1	11	18.2	45.5	36.4	-18.2
建設業	12	16.7	50.0	33.3	-16.6	12	41.7	41.7	16.7	25.0	12	0.0	91.7	8.3	-8.3
観光・サービス	16	62.5	18.8	18.8	43.7	16	31.3	37.5	31.3	0.0	16	56.3	31.3	12.5	43.8

自社業況判断DIの推移

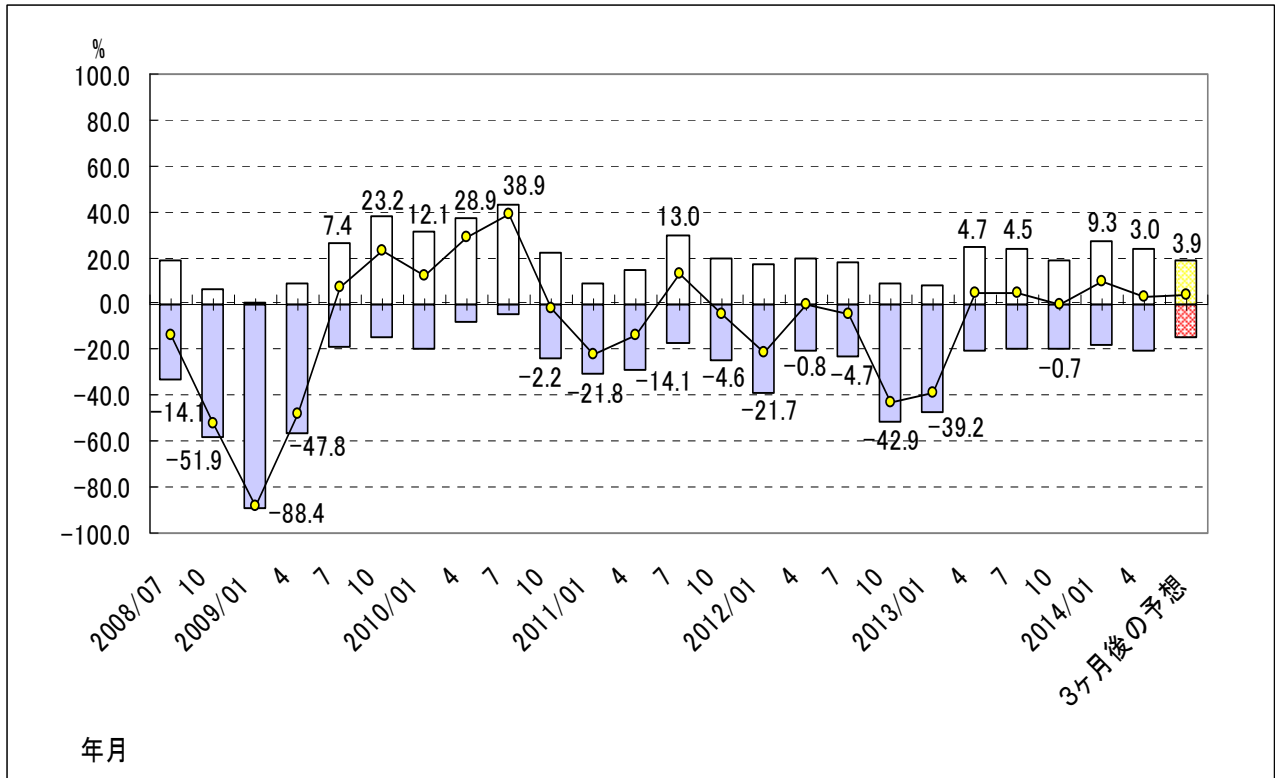
● 回答全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



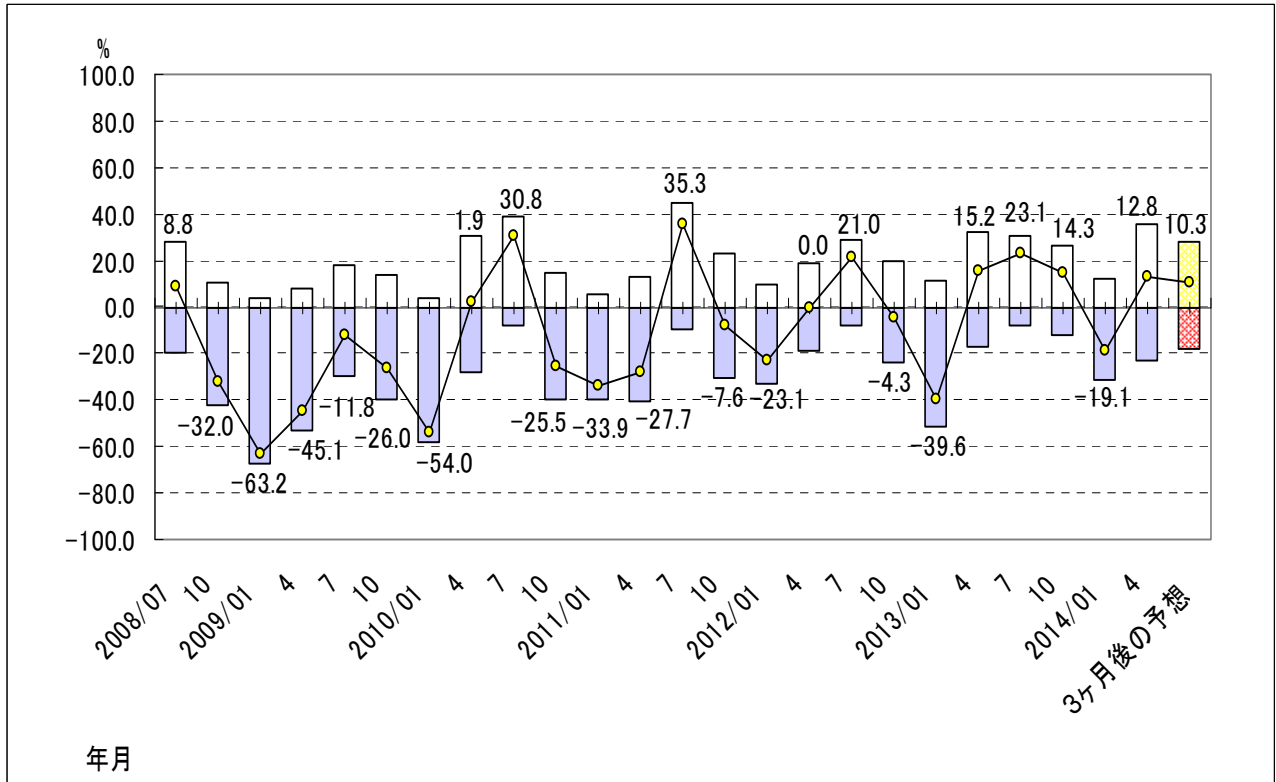
●製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



産業別景気動向

1.製造業

業況判断DIは「3ヶ月前」比で3.0と、前回調査時の9.3から6.3ポイント悪化した。「前年同期」比は14.7で、前回の19.4から4.7ポイント悪化している。「3ヶ月後」の予想は3.9で、前回の6.2から2.3ポイント悪化した。

受注状況DIは「3ヶ月前」と比べて1.6と、前回の9.3から7.7ポイント悪化した。「前年同期」比は11.6で前回の19.4から7.8ポイント悪化している。「3ヶ月後」の予想DIも1.5と、前回の2.3から0.8ポイント悪化している。増税の影響がなく、好調な受注が続いている企業もあるが、駆け込み需要が一服した企業もあり、「3ヶ月後」も現在とほぼ同様に推移する予想となっている。

収益性DIは「3ヶ月前」比で△7.7と、前回の△11.6からやや改善し、「前年同期」比でも前回の△13.2から△8.5へ4.7ポイント改善したが、「悪化」の企業が「好転」の企業を上回り依然、マイナス水準で推移している。原材料や輸送費、燃料などの高止まりが収益を圧迫する企業は少なくない。「3ヶ月後」の予想は△5.4で、前回の△9.3より3.9ポイント改善した。

消費増税の影響は「3ヶ月前」と比べて「多少」とする企業が61.5%、「多大」とする企業が7.7%あり、69.2%の企業が影響を感じている。「3ヶ月後」の予想では「多少」が68.5%、「多大」が7.7%で76.2%が今後に影響があると予想している。

業種別(主要5業種)の業況判断DIでは、「3ヶ月前」と比べて「金属製品」が12.5、「一般機械」は10.0、「電気機械」は3.8、「輸送用機械」は△12.5、「精密機械」が△50.0となった。「前年同期」比では「精密機械」が△25.0とマイナスだが、「金属製品」は25.0、「一般機械」は23.3、「輸送用機械」は25.0、「電気機械」が27.0とプラス水準となっている。「3ヶ月後」の予想DIは、「電気機械」が19.3、「精密機械」が16.7、「金属製品」が6.3とプラス水準で、「輸送用機械」は△6.3、「一般機械」は△3.3と悪化予想が上回っている。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	130	23.8	55.4	20.8	3.0	130	36.2	42.3	21.5	14.7	130	18.5	66.9	14.6	3.9	
規模	1~29人	69	18.8	52.2	29.0	-10.2	69	29.0	47.8	23.2	5.8	69	13.0	68.1	18.8	-5.8
	30~99人	39	28.2	56.4	15.4	12.8	39	35.9	41.0	23.1	12.8	39	25.6	59.0	15.4	10.2
	100人~	22	31.8	63.6	4.5	27.3	22	59.1	27.3	13.6	45.5	22	22.7	77.3	0.0	22.7
分類	金属製品製造業	16	18.8	75.0	6.3	12.5	16	43.8	37.5	18.8	25.0	16	18.8	68.8	12.5	6.3
	一般機械器具製造業	30	23.3	63.3	13.3	10.0	30	40.0	43.3	16.7	23.3	30	10.0	76.7	13.3	-3.3
	電気機械器具製造業	26	26.9	50.0	23.1	3.8	26	46.2	34.6	19.2	27.0	26	30.8	57.7	11.5	19.3
	輸送用機械器具製造業	16	12.5	62.5	25.0	-12.5	16	43.8	37.5	18.8	25.0	16	12.5	68.8	18.8	-6.3
	精密機械器具製造業	12	0.0	50.0	50.0	-50.0	12	16.7	41.7	41.7	-25.0	12	25.0	66.7	8.3	16.7

① 諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

● 金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて12.5で、前回調査時の△33.3から45.8ポイント改善した。「前年同期」比は25.0で前回の0.0より改善している。「3ヶ月後」の予想も6.3で前回の△6.7より改善している。自動車部品関連の受注は堅調に推移している。一方で「当面は極端な落ち込みはないものの、短納期、小ロットの動きに対応せざるをえず、中長期的な展望ができない」という声もある。

● 一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて10.0で、前回の18.2から8.2ポイント悪化した。「前年同期」比は23.3(前回15.2)と改善した。「3ヶ月後」の予想は「好転」企業10.0%、「悪化」企業13.3%の△3.3で前回の6.0から悪化している。総体的にはIT関連や半導体関連が順調で、工作機械、産業機械などは上向きになる企業が増えている。

● 電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「好転」企業(26.9%)が、「悪化」企業(23.1%)を上回るが、3.8で前回の24.0からは悪化した。「前年同期」比でも「好転」企業が46.2%で、「悪化」企業の19.2%を上回っているが、27.0で前回の40.0からは悪化している。また、「3ヶ月後」の予想は19.3で、前回とほぼ同様になっている。収益性DIは3.8で、前回より改善しているが、企業間に格差がある。

● 輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて△12.5で、前回の16.6から29.1ポイント悪化した。「横這」企業が62.5%で、「好転」企業が前回の22.2%から12.5%に減少し、「悪化」企業が5.6%から25.0%に増えている。「前年同期」比は25.0で、前回の50.0から半減した。「3ヶ月後」の予想は「好転」と「悪化」が同率だった前回に比べ、「悪化」予想の企業が増え△6.3となっている。

● 精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて△50.0で、前回の0.0から大幅悪化した。「前年同期」比も△25.0で前回の0.0から悪化した。一方、「3ヶ月後」の予想は16.7で前回の△10.0から改善し、「好転」を予想する企業が増えている。取引先の状況によって大きな格差があり、「3ヶ月前」と比べた受注DIは△33.4で前回の△10.0より悪化した。

② 規模別業況

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「1~29人」規模が△10.2で前回の2.9から悪化し、「30~99人」規模が12.8で前回の10.2より改善した。「100人以上」規模は27.3で前回とほぼ同様だった。「前年同期」比は「1~29人」規模が5.8で前回の11.6から悪化し、「30~99人」規模が12.8で前回と同率、「100人以上」規模は45.5で前回より悪化した。「3ヶ月後」の予想は、「1~29人」規模は△5.8で前回と同率、「30~

99人」規模が10.2で前回の17.9より悪化、「100人以上」規模は22.7で前回の23.8よりやや悪化した。

③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは、「増加」企業26.2%、「減少」企業24.6%で1.6と、前回調査時の9.3から悪化している。「前年同期」比でも前回の19.4から11.6と悪化した。「3ヶ月後」の予想は「増加」企業19.2%、「減少」企業17.7%の1.5で、前回の2.3から悪化し、先行きの見方が分かれています。

規模別の受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人企業」は△10.2で、前回の1.4から悪化した。「30～99人」企業は10.2で、改善傾向が続いていた前回の12.8から悪化し、「100人以上」も22.7で前回の28.6から悪化している。「前年同期」比では「1～29人」が4.3で、前回の13.0から悪化した。また、「30～99人」は12.8と前回の15.4から悪化し、「100人以上」も31.8と前回の47.6から悪化している。「3ヶ月後」の予想では、「1～29人企業」は△8.7で前回の△5.8からマイナス幅が広がり、「30～99人」も前回の12.8から5.1と悪化した。が、「100人以上」は27.3で前回の9.5から改善し、好転予想が増えている。

業種別(主要5業種)では、「3ヶ月前」と比べて、「電気機械」は24.0から△3.8、「一般機械」は18.2から6.7、「精密機械」は△10.0から△33.4、「輸送用機械」も前回の16.7から△12.5と悪化した。が、「金属製品」は△13.3から18.7と改善した。「前年同期」比では「輸送用機械」が前回の55.6から25.0、「電気機械」は28.0から15.4、「精密機械」も0.0から△16.7へ悪化した。一方、「一般機械」は21.3から23.4、「金属製品」は6.6から12.5と改善した。

「3ヶ月後」の予想は、「金属製品」と「一般機械」は「増加」と「減少」の判断が拮抗して0.0となり、「精密機械」は33.3で増加予想が上回っている。「電気機械」も7.7で「増加」予想の企業が上回っているが、「輸送用機械」は前回の0.0から△6.3と「減少」予想の企業が上回っている。

業種別・規模別受注状況表

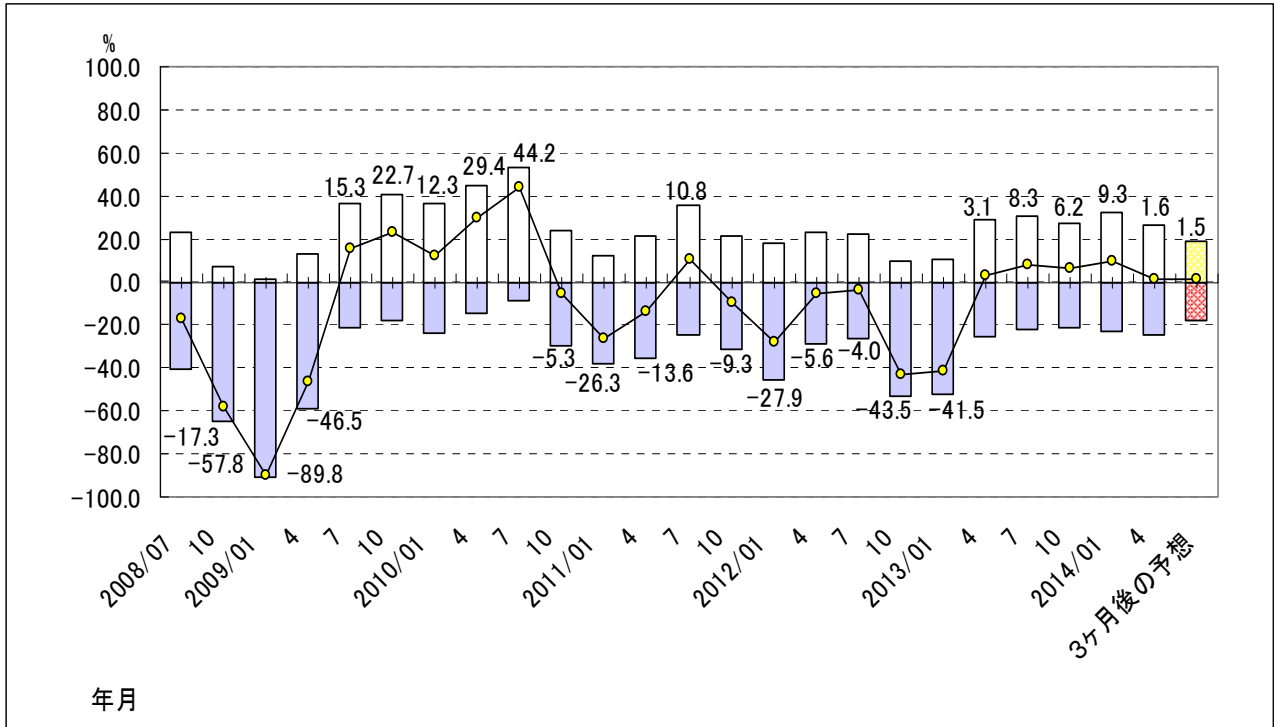
表-3

		3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
		回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI
	製造業	130	26.2	49.2	24.6	1.6	130	36.2	39.2	24.6	11.6	130	19.2	63.1	17.7	1.5
規模	1～29人	69	24.6	40.6	34.8	-10.2	69	33.3	37.7	29.0	4.3	69	15.9	59.4	24.6	-8.7
	30～99人	39	25.6	59.0	15.4	10.2	39	33.3	46.2	20.5	12.8	39	20.5	64.1	15.4	5.1
	100人～	22	31.8	59.1	9.1	22.7	22	50.0	31.8	18.2	31.8	22	27.3	72.7	0.0	27.3
中分類	金属製品製造業	16	25.0	68.8	6.3	18.7	16	37.5	37.5	25.0	12.5	16	18.8	62.5	18.8	0.0
	一般機械器具製造業	30	30.0	46.7	23.3	6.7	30	46.7	30.0	23.3	23.4	30	13.3	73.3	13.3	0.0
	電気機械器具製造業	26	30.8	34.6	34.6	-3.8	26	42.3	30.8	26.9	15.4	26	26.9	53.8	19.2	7.7
	輸送用機械器具製造業	16	12.5	62.5	25.0	-12.5	16	43.8	37.5	18.8	25.0	16	12.5	68.8	18.8	-6.3
	精密機械器具製造業	12	8.3	50.0	41.7	-33.4	12	25.0	33.3	41.7	-16.7	12	33.3	66.7	0.0	33.3

製造業の受注状況DIの推移

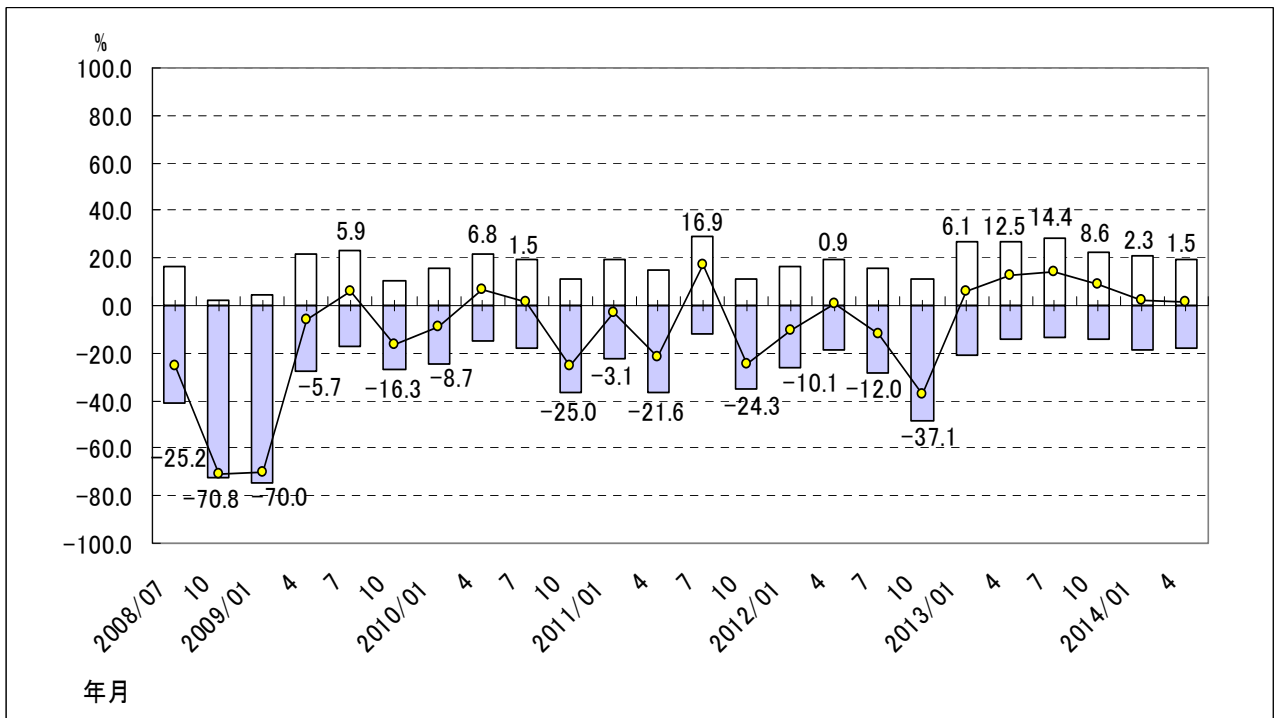
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



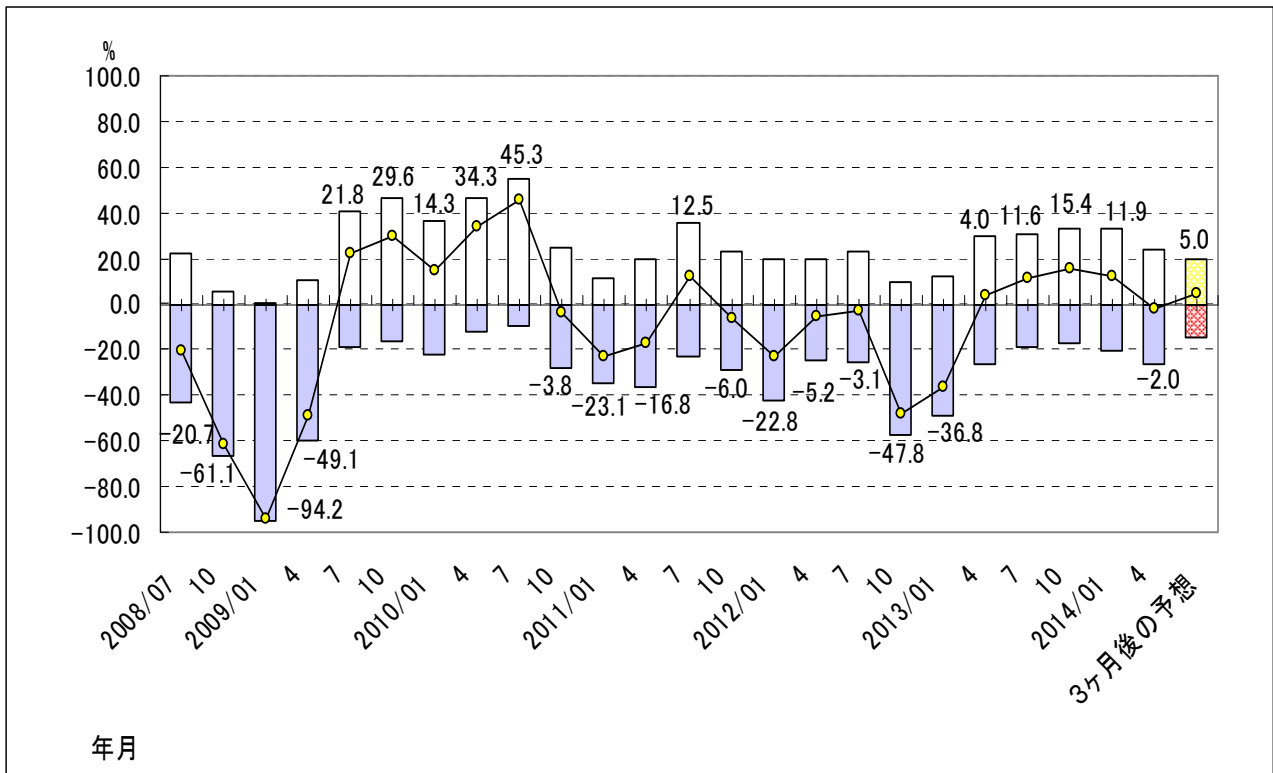
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



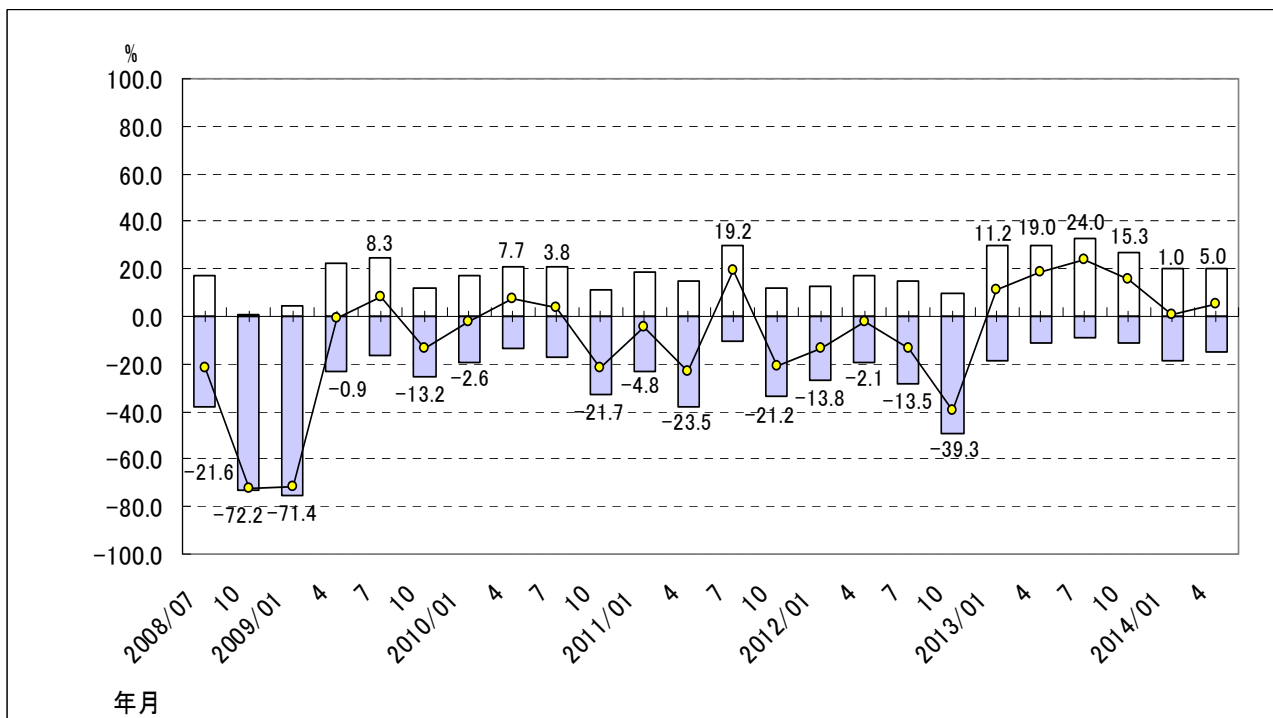
●製造業 主要5業種:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



2.商業・観光サービス業

①商業

「3ヶ月前」と比べ、大型店を中心とした業況判断DIは0.0と前回調査時と同様だった。来店客数DIは9.1で前回の0.0から改善した。収益性DIは△9.1で前回の△16.7から改善したが、マイナス水準となっている。客単価DIも18.2で前回の16.7から改善した。「3ヶ月後」の業況予想DIは「悪化」企業が上回り△18.2となった。消費増税の影響が「多大」とする企業が63.6%で反動減はあったものの、月後半には回復した企業もあり、想定外の落ち込みとはならなかったと見られる。3ヶ月後も何らかの影響があるとする企業は多い。

- 食料品 駆け込み需要の反動で米や調味料など保存が効く商品の売れ行きが減少したが、週を追うごとに回復傾向となった小売店が多い。生鮮食品関係は前年並みの推移だった。
- 衣料品 高額な礼服などを中心に反動減が見られた。
- 自動車 長野県内の4月の新車新規登録・届出台数は登録車が3,842台となり、前年同月比で8ヶ月ぶりに減少した。軽自動車は4,109台で10ヶ月連続増加した。
- 家電店 白物家電などで反動減があるが、パソコンはXPサポート終了とインターネット閲覧ソフト欠陥発覚で新型への買い替え需要もあった。
- ホームセンター 住居用品など駆け込み需要の反動はあるが、気温が上がり、園芸用の肥料や土壌改良剤などに動きがある。

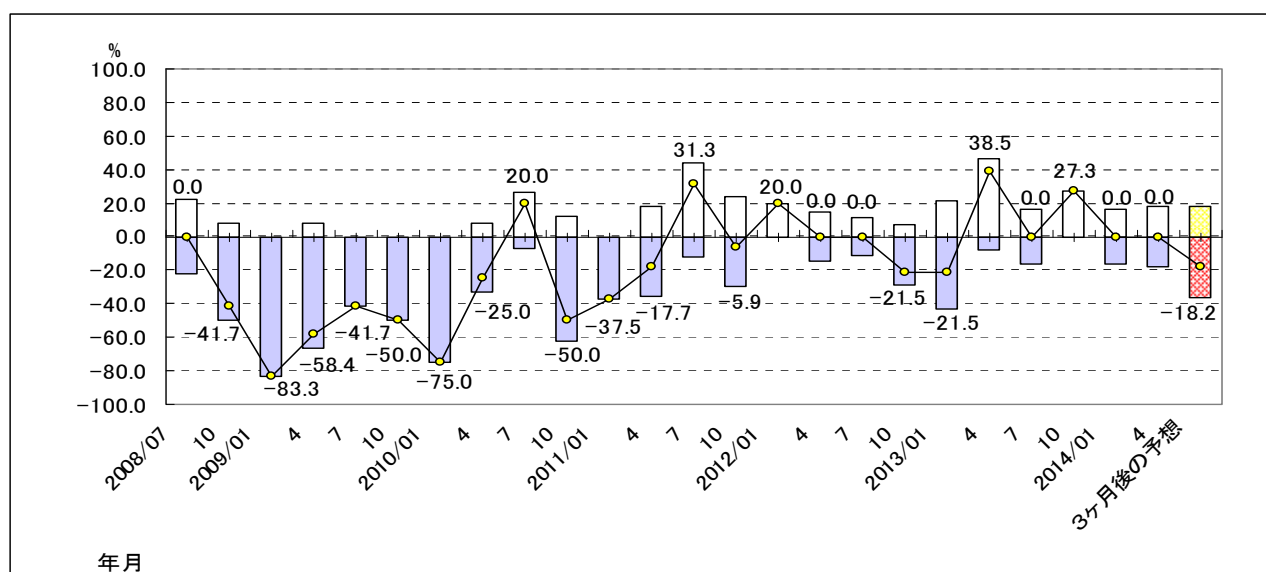
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	11	18.2	63.6	18.2	0.0	11	36.4	36.4	27.3	9.1	11	18.2	45.5	36.4	-18.2
客単価	11	27.3	63.6	9.1	18.2	11	36.4	54.5	9.1	27.3	11	27.3	63.6	9.1	18.2
来店客数	11	18.2	72.7	9.1	9.1	11	36.4	45.5	18.2	18.2	11	18.2	45.5	36.4	-18.2

●商業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



②観光・サービス業

業況判断DIは、「3ヶ月前」比が43.7で前回調査時の△38.9より大幅改善した。「前年同期」比では0.0で前回の5.6から悪化している。「前年同期」比の客単価DIは前回の△16.7から6.2、宿泊客数DIは前回の△16.7から△6.2と改善している。「3ヶ月後」比は業況予想DIが43.8で前回の33.3から改善し、宿泊客数DIも50.0で前回の33.3から改善している。外国人観光客や格安ツアーが増加傾向で、価格対応は施設に差がある。連休とならなかったGW前半の入り込みは前年に比べて減少した。

消費増税の影響は62.5%の企業が3ヶ月後もあると見ている。宿泊客減少の懸念から増税後も料金を据え置く施設もある。

- 上諏訪温泉 4月の宿泊人数は総体で前年よりやや増加した。海外からの観光客は4月中旬の立山黒部アルペンルート開通に伴い、台湾を中心に好調になっている。
- 蓼科・白樺湖・車山方面ほか シーズンの境目の時期で低調な推移だが、富士見高原は夏季の初月としては来場者数が増加した。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた4月の参拝者数は約41千人と、前年同月比約8,400人の減少(△17.1%)となった。

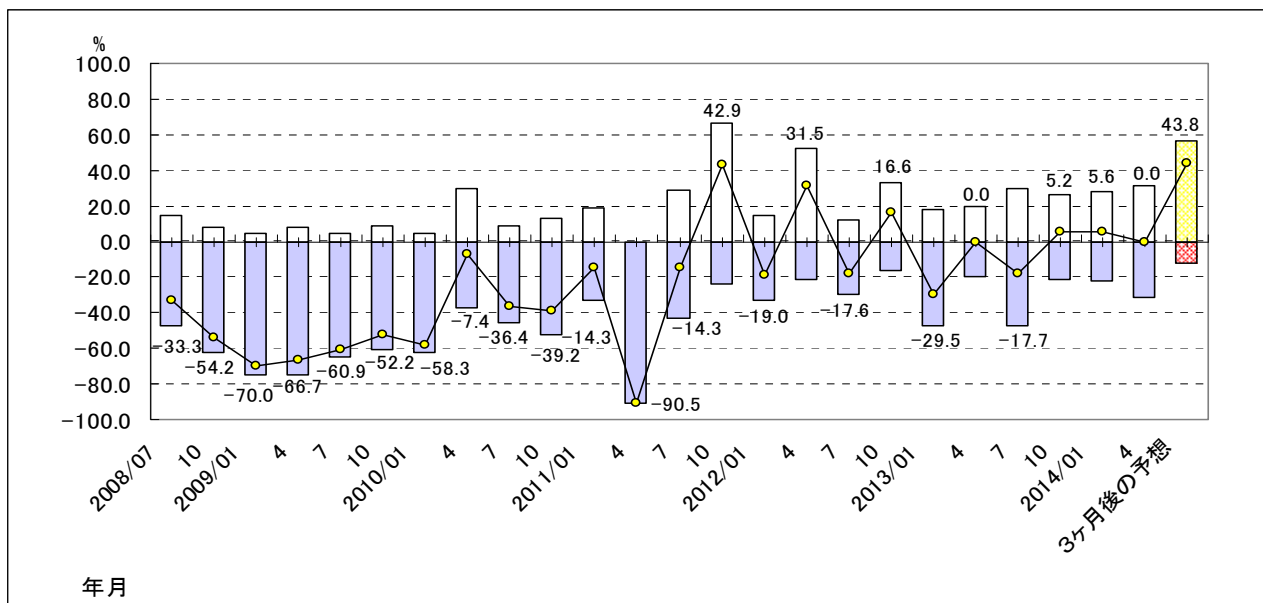
業況、売上、宿泊客

表-5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	16	62.5	18.8	18.8	43.7	16	31.3	37.5	31.3	0.0	16	56.3	31.3	12.5	43.8
客単価	16	25.0	62.5	12.5	12.5	16	25.0	56.3	18.8	6.2	16	6.3	93.8	0.0	6.3
宿泊客数	16	68.8	6.3	25.0	43.8	16	31.3	31.3	37.5	-6.2	16	62.5	25.0	12.5	50.0

●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-9



3.建設業

業況判断DIは「3ヶ月前」比で△16.6と前回調査時の△8.3から悪化した。前回は「横這い」企業が91.7%を占めていたが、50.0%となっている。「前年同期」比でも25.0で前回の33.4から悪化した。「3ヶ月後」の予想も△8.3で前回の0.0から悪化が上回った。受注状況予想DIは前回の△33.3から△8.3と改善した。リフォームは好調で、消費増税とは関係なく経年劣化による動きもある。

●建築工事

諏訪地方の平成25年4月～平成26年3月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市298戸、諏訪市352戸、茅野市387戸、諏訪郡326戸だった。利用別の前年度比では分譲が111.9%、持家は22.1%伸び、貸家は2.6%減少した。消費増税前の駆け込み需要が増加要因となっている。県全体の3月の新設住宅着工戸数は594戸で、前年同月比29.2%減少した。

●公共工事

4月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は林道治山工事関係1件44百万円だった。市町村は建築工事5件217百万円、土木及び下水道工事40件241百万円、その他工事12件22百万円だった。

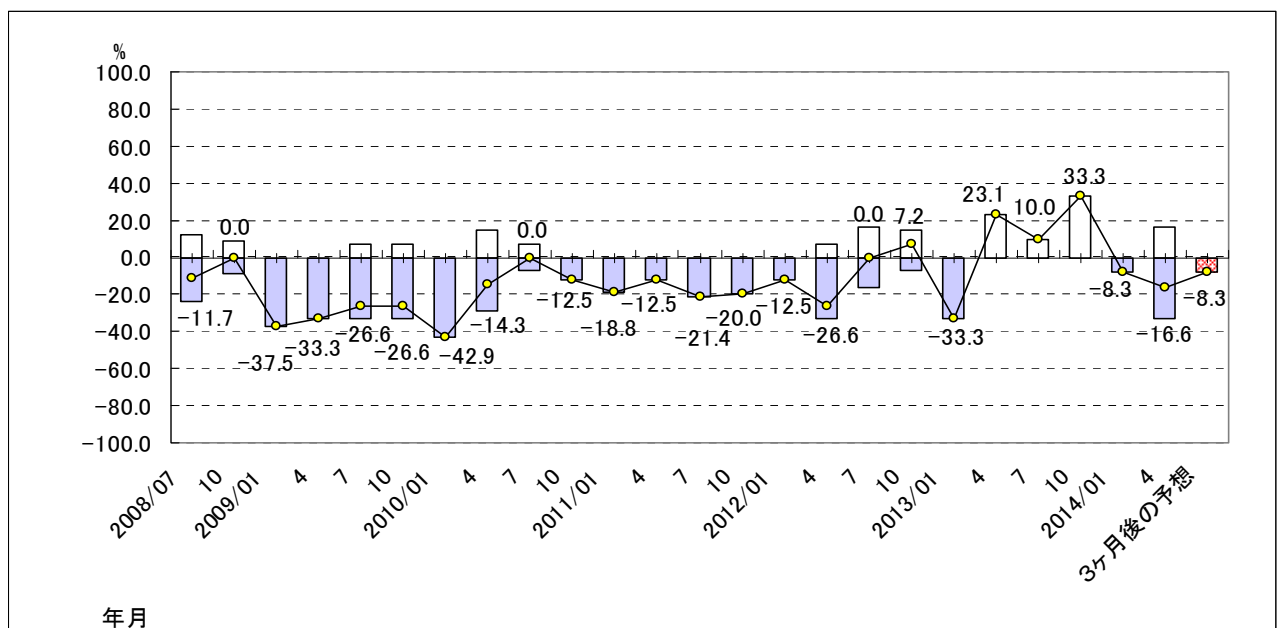
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	12	16.7	50.0	33.3	-16.6	12	41.7	41.7	16.7	25.0	12	0.0	91.7	8.3	-8.3
受注状況	12	16.7	33.3	50.0	-33.3	12	16.7	50.0	33.3	-16.6	12	16.7	58.3	25.0	-8.3
外注発注量	12	8.3	58.3	33.3	-25.0	12	16.7	58.3	25.0	-8.3	12	0.0	91.7	8.3	-8.3

●建設業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-10



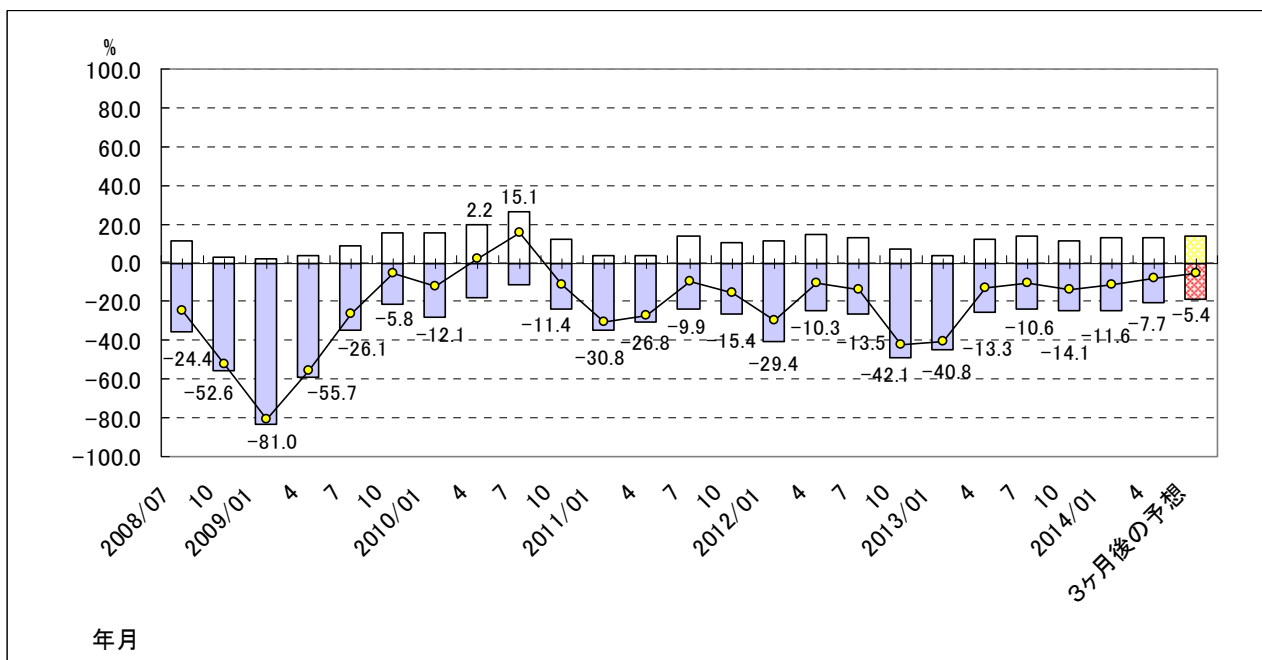
4.収益性状況

回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 14.8%、「悪化」企業 20.7%で、同DIは△5.9と前回調査時の△15.8から改善した。「前年同期」比では△5.3で、前回の△11.1から5.8ポイント改善した。製造業は△7.7で前回の△11.6から3.9ポイント改善し、非製造業も0.0で前回の△28.6から改善している。ただ、原材料や燃料高騰による収益圧迫の声は多い。

「3ヶ月後」の予想DIは、製造業が△5.4で前回の△9.3から3.9ポイント改善し、非製造業も7.6で前回の0.0より改善した。回答全社では△2.4で前回の△7.0から改善している。

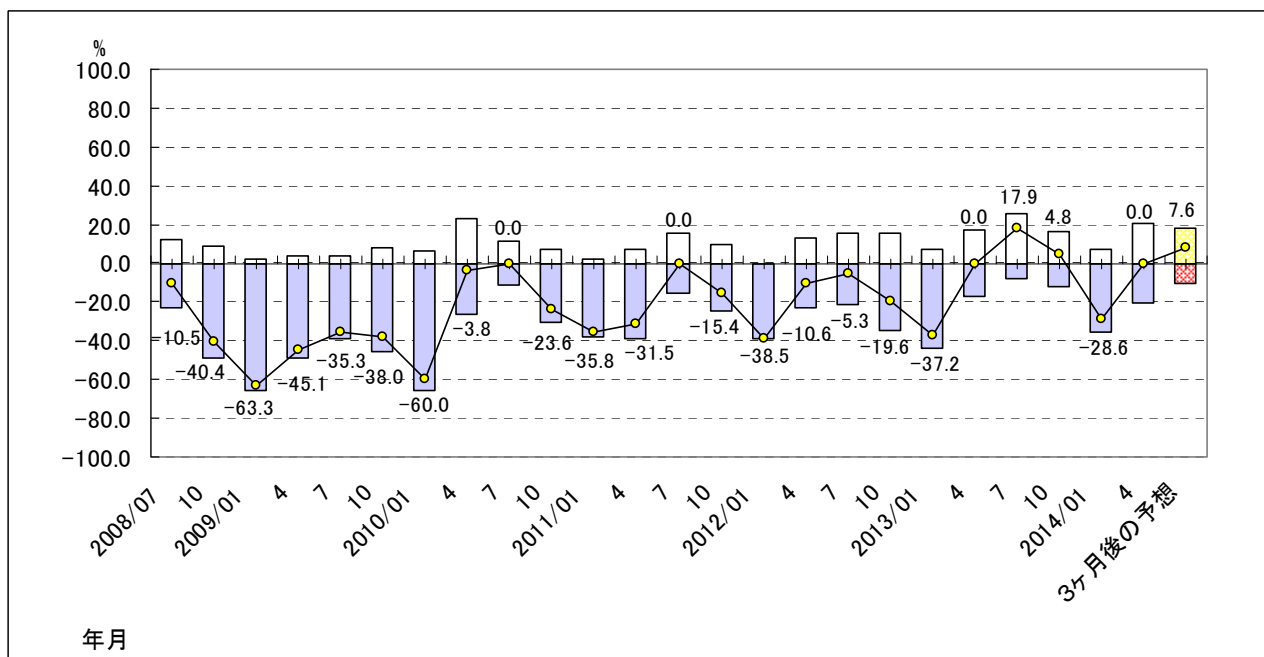
●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー11



●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー12



5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は売上減少、競争激化をあげる企業が多く、②商業(大型店)も売上減少、競争激化③建設業は前回より人件費と労働力確保が増加し④観光・サービス業は前回より競争激化が増えている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	68	49	7	5	7
単価引下げ	31	29	1	0	1
競争激化	49	32	6	5	6
資金繰り	35	29	2	1	3
人件費	28	15	5	4	4
労働力確保	32	23	3	4	2

6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比	
有効求人倍率【3月】	ハローワーク諏訪	0.98倍	0.24ポイント	
手形交換高【4月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	6,208枚	△1,718枚	
	金額	8,794百万円	△3,875百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	0枚	△3枚
	金額	0千円	△3,105千円	
電力使用量【4月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	56,766 MWh	5.7%	
	高压電力計	98,393 MWh	8.6%	
	合計	155,159 MWh	7.5%	
車庫証明取扱件数【4月】(諏訪地方合計)		875件	△2.2%	
新設住宅着工戸数【H25.4~26.3】(諏訪管内)		1,363戸	24.6%	

7.調査概要

DI調査:業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値

- ①調査期間 平成26年4月末
- ②調査内容 「平成26年4月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想
- ③調査方法 アンケート調査(回答数 下記⑦)及びヒアリング調査(約130社)
- ④対象地域 諏訪地域全域
- ⑤業種 製造業、商業(大型店:売り場面積501㎡以上)、建設業、観光・サービス業
- ⑥回答企業数 169企業
- ⑦回答率 65.8%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	190	20	20	27	257
回答数	130	11	12	16	169